

## 前田侯子先生の最終講義をホームページに載せるにあたって

前田侯子先生は本学理学部化学科の第 1 回卒業生で、ご卒業後数年間通産省東京工業試験所（現在の独立行政法人産業技術総合研究所）に勤務された後、故林太郎先生（有機化学）の助手として本学に戻られました。以来助手としてのちに教授として後進の教育指導及び研究に当たられ平成 8 年 3 月に定年退官されました。今回先生の最終講義を先生の許可を頂いてここに採録させていただきました。この最終講義は先生が林先生と共に光有機化学というまったく新しい領域を拓かれた経緯を述べられる（林先生はこの研究業績により日本化学会賞を受賞されました。）と同時に、設立当初から定年退官されるまでのお茶の水女子大学理学部化学科の歩みをお話くださったものです。読み進むにつれ、当時を知らないものにも、その時代の息吹が生き生きと感じられる大変貴重なものです。前田先生をご存知の方にはもちろんのこと、直接先生に接することのできなかつた卒業生、あるいは在学生の方にも是非お読みいただきたく存じます。大学のあり方が問われて久しく、これからの行き方を模索しているこのごろ、この最終講義は、もう一度原点に立ち戻り、大学とはいかにあるべきか、あるいは研究とはいかにあるべきかを考えてみる一助にもなるかとも思われます。なお先生のお考えにより写真の一部を差し替え、また文章も話し言葉から書き言葉に変更し、あることを申し添えさせていただきます。（OUCA 会役員 梅澤香代子）



（最終講義をされる前田侯子先生）